

# 2022 年秋学期語学留学/RMIT 大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

## 1. 授業について

### 授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業は午前二時間、昼休憩一時間、午後二時間の構成。毎日大学のサイトに沿って文法を学んだり、プレゼンやライティングの書き方を学ぶ。ミニゲームのようなものを使い、英語を話しながら文法を定着させる。

speaking や discussion をする授業と reading や grammar をする日が分れていた。

授業の形態は紙や教科書を使わずに毎授業パソコンを持参して学校が用意しているオンラインサイトに授業前にログインしてその内容に沿って授業が行われていく感じでした。セクションごとによって学ぶお題が違っていたので幅広い分野を英語で学ぶことができ、グループディスカッションが多かった。自分の意見を言う場がとて多かったです。

11時から16時までで、1時間のランチタイムがあり、4時間の授業時間でした。

10-15 人ほどの少人数クラスで二日間は speaking を主に、残り三日間は主に writing を勉強していました。

授業スピードは速すぎず、あまり遅くもなかったです。途中途中でグループワークや皆それぞれに発言の機会がありました。

授業は週に20時間で、1コマ2時間でした。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング全てを学びました。その中で最も多く2時間学んだのはスピーキングです。1コマに最低でも2回以上ディスカッションの機会があり、さまざまな内容を話し合いました。また、ゲーム形式での学びもあり、集中力を切らすことなく、授業を受けることができました。

授業のほとんどは学生の発言が中心でした。先生の話聞くだけの時間はほとんどなく、何かについて意見したり、学生同士で話し合いをしたり、ペアワークをする時間がとても多かったです。

対面形式で、主に大学独自の教材をパソコンを使って授業を進めた。

学校独自の学習サイトをメインでそれに沿って授業が進められていました。reading, listening, speaking, writing それぞれあり、どのセクションも1人で行うというよりクラス全員で行うような授業形式でした。文法などの確認はゲームを通して行うことが多かったです。

大学専用のアプリケーションを使用し、進められていた。

最初は先生が固定にならず日によって変わりました。1~2週間後先生が固定になり、月火・水~金で先生2人の授業でした。理解度確かめてくれたり、それによって授業内容も変更してくれたのでついていきやすかったです。

### クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラス全体12人 日本:7人 コロンビア1人 韓国:1人 サウジアラビア:2人 タイ:1人

クラスの人数は16人ほどで、半分が日本人留学生で、他の国からの留学生は、サウジアラビア、韓国、タイ、コロンビアの出身の人たちがいました。

日本人は6人ほどで半分はサウジアラビア、韓国、コロンビア出身の同い年から40代の方までいました。クラスによって比率はかなり変わると思います。私がいたところは半分ずつでしたが、他のクラスは日本人がほとんどのところと多国籍ばかりで日本人がいなさそうなところもありました。

クラスは12人で半数が日本人で韓国・サウジアラビア・コロンビアから来てる学生もいました。

13人程度私のクラスは日本人8人、留学生5人(サウジアラビア、インドネシア、ベトナム、東ティモール)大学全体では中国人が多かった印象

クラス人数:11~13(途中で帰国した学生や参加した学生がいたため)日本人:9人【外大生が多く(8~9割は日本人でした)】留学生の出身国: 東ティモール、インドネシア、ベトナム、サウジアラビア、日本

### クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本の授業とは違い、学生が発言する機会が多い

ほかの国の学生がよく発言していた

日本の授業と大きく違うなと感じたのは全員が授業に参加するんだという意識があって、みんな授業に前向きに参加する姿勢で臨んでいて、毎回手を上げて答えたり質問をしたりするのが普通なんだなと感じました。グループワークの時にも全員が意見を出して納得のいくまで答えを探り出すということが通常だったので、自分達で導き出すという力がつく授業だなと深く感じました。先生方も、仕事だからただ教えることをこなすのではなくて、追加で知識を付け足してくれたりみんなが疲れてそうだなと感じたらゲーム制の授業に変えてくれたりと学生一人一人と向き合ってくれました。

明るくて、みんなが自分の思ったことを口に出せるような雰囲気でした。

とても穏やかでみんな仲が良く speaking の授業では積極的にグループやペア活動が多かったので強制的に知らない人ともはなさなければならなかったので色々な意味で仲良くなる時間は掛からなかったと思います。私のクラスはみんな英語を勉強したいという気持ちが当たり前だったので下手とか上手とかそういう比較がそもそもなくて受け入れがお互いにあるとあって積極的に発言ができたところが勉強しがいがあるなと思いました。

雰囲気は明るく、皆それぞれが発言したりするので、居心地の良いクラスでした。

授業開始時は、発言回数がとても少なかったのですが、後半になるにつれて、発言回数が増え、分らないことがあればすぐに質問できるようなどともいい雰囲気でした。

日本よりも学生が発言しやすいような雰囲気だと感じました。発言数もとても多く、クラスメイトの全員が気になったことや気づいたことがあればすぐに声に出していました。

クラスの雰囲気は毎日楽しくよかった。日本の授業よりも発言や質問がしやすく、いい雰囲気だった。周りの友達とも話し合いながら授業を進められるのが日本とは違ってよかった。先生への連絡の取り方もわざわざ長いメールを書かずにチャットでやり取り出来て楽だった。

日本の大学の授業より自由に発言する人が多かった気がします。またほかのクラスメイトと一緒にかがえたりすることで話す機会が多かったです。

私のクラスは、学生も穏やかな子が多く、和やかな雰囲気でした。先生も休憩時間の話から話を広げていってくれたりしたのでとても過ごしやすかったです。個人差はありますが、他国の留学生は日本人よりも発言を抵抗なくする印象でした。

### 授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

環境問題、リサイクル

それぞれの国を比較する授業

私が授業の中で印象に残っているのは広告についての授業とオーストラリアのスラングの授業でした。

毎回 speaking の練習でサイコロを振って出たトピックを話すときに自分の意見を考えなければならない時に一つ以上話すことがかなり強いられたのは毎回苦労しました。賛成か反対かを議論する時も端的かつわかりやすい自分が持っている単語で説明するのは難しく印象に残っています。

環境問題です。授業で新しい単語が出たり、フレーズが出るのでとても勉強になりました。

世界の食糧ロスの問題です。各家庭あたりのフードロスの量を目の当たりにし、信じられませんでした。

最も印象に残っていることは、アイデンティティや性格など人に関することです。あなたにとってアイデンティティとは、勉強に向いているのは内向的な性格か外交的な性格かなど、答えのないトピックで議論することはとても興味深く楽しかったです。

プラスチックのごみ問題について

リサイクル

### 授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

日本人の割合が多かったので、積極的に他国の人の近くに座ること。

できるだけ発言した

授業は当たり前としてオールイングリッシュで行われるため、わからない単語が途中であってもすぐにメモに取って空いた時間に調べていました。毎日

のように新しい単語や文法を学ぶので授業が終わって帰った後は自分で復習したり、先生に追加の課題を出して欲しいとお願いして出してもらうようにしていました。

今まで自分の意見をあまり言わない性格だったけど、他の国からの留学生の人たちは、間違えることなど気にせず発言する子が多かったので、自分も積極的に話せるように努力しました。

わからない説明や単語は先生に直接聞いてました。調べるのも大事だとは思いますが私はリスニングとなぜわからないかを説明できるようにスピーキングも練習したかったので聞くようにしてました。会話がそのまま広がったりすることが多かったので先生と話すことはよかったです。

自分が発言をする際に、この時は英語でどういべきかをあらかじめ調べておくことで発言しやすくなりました。

ディスカッション時にどうしても日本人が多いので日本人グループができてしまうことがあったのですが、そこで伝えることが難しい話題でも日本語を使わず英語を使い続けたことです。

とにかく周りに圧倒されないように積極的に発言したことです。黙っていても何も成長できないので、完ぺきでなくても英語で自分の言いたいことを声に出すようにしてました。

日本人が多いクラスではあったが、留学生もいたので積極的に話しかけに行ったこと。わからない部分は先生に聞きに行くようにした。

最後まで自分の意見を伝えることを努力していました。日本人の割合が多かったのでペアを組む際に日本人同士になることが多くありましたが、英語で話すことを意識していました。

積極的に発言をすること。宿題があまり出なかったため、自分から言ってもらうようにした。

授業時間よりも早くに来て分からないところや苦手な部分の復習をするようにしてました。また、週末には先生から追加の宿題を貰うなどしてました。学校のサポートを使ってスピーキングのトレーニングを予約したり、カンパセーションクラブに週に1度行くようにしてました。

## 2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。	通学手段	通学時間
0人			30-45分
1人	中国	電車	30-45分
2人	一人はベトナム人でもう一人は中国の方でした。	電車	45-60分
1人	ベトナム	電車	45-60分
1人	日本人の26歳ワーホリ中の方でした。もう一人いましたがすぐに引っ越されました。		45-60分
2人	ベトナム・日本	バス	30-45分
2人	インドネシア人と中国人でした。	電車	30-45分
2人	日本人とベトナム人	電車	60-75分
3人	日本、中国、ミャンマー、ベトナム	電車	30-45分
0人		バス	15-30分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
勉強机 ベッド 棚 クローゼット	ドライヤー
ベッド 机 椅子 たな 洗濯かご ゴミ箱	特になし
ベッド、タオル、机、ライト、ゴミ箱、ハンガー、延長コード、引き出し、鏡、洗剤	ドライヤー、バスセット、タオル、洗濯網、変圧器、延長コード
ベッド、勉強机、クローゼット、ハンガー、たんす、ベッドサイドテーブル	ヘアドライヤー、シャンプーやボディソープ、歯ブラシ、歯磨き粉

ハンガーラック、机、ベッド一式、椅子、鏡、本棚、ハンガー、小物入れ	シャンプー、リンス、薬、化粧水、服、かばん、生理用品
ベッド・机・テレビ・クローゼット	ハンガー
ベッド、ソファ、机、照明、ハンガー、クローゼット、椅子、鏡	シャンプーなどのお風呂用品
机、ベッド、収納、ゴミ箱	
布団、机、ゴミ箱、ハンガー	左記のもの以外全部
机、いす、パソコン、クローゼット、タンス、ベッド	
ベッド、枕、勉強机、椅子、ヒーター、卓上ランプ、ティッシュ、ゴミ箱、ハンガー、クローゼット	歯ブラシ、洗顔、メイク落とし、生理用品
ベッド・ティッシュ・机・椅子・洋服ダンス	シャンプー・リンス・洗顔・メイク落とし・文房具・ドライヤー

### ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸感ったこと、驚いたこと。

家の中が寒いこと。お風呂に入る時間が短いこと。寝る時間が早いこと。

#### シャワーの時間

ファミリーの就寝時間が早かったのを考慮して早くにお風呂に入らないといけないと感じたところでした。あと、予想はしていたのですが、お血洗いと洗濯は自分でしていました。

シャワーのお湯の温度の調整が難しかったです。

シャワーはやはり途中から電気代が高くなり頭を洗うのは二日に一回と言われました。あとシャワー室はホストマザーの部屋とルームメイトと娘の部屋を通らないと入れず自分が夜遅く帰ってきた時には9時くらいからみんな寝ているのでお風呂に夜入れず朝に入るようなことが度々ありました。朝入るか夜入るか聞かれて夜と答えていたのですがいつ入ってもいいからと言われましたが寝ているときに部屋に入れなかったのが難しかったです。またご飯もみんなと食わず一人やルームメイトと三日や四日間に渡って同じものを食べてそれがなくなったらマザーが作ってくれるという感じだったので他のホームステイよりかは寮母のような感覚でした。

洗濯を週に1, 2回することです。

食事のタイミングがバラバラだったこと。全員で食卓を囲むのは2週間に一回程度だった。

#### 晩御飯の時間がはやくこと

シャワールームとトイレが同じ部屋にあるのでどちらかを使っているときは使えなかった。水があまりないにだったのでシャワーの頻度や使用時間に驚きました。

ご飯をたくさん残して捨てていた・水分をあまりとらない・シャワーの時間が決められていた(私以外)

水を大切に使うこと

### ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

最初は緊張するけど積極的にホストマザーに話しかけること。話しかけて話すとはどんどん打ち解けてホストマザーと話す時間が一日で一番楽しい時間になった。

ある程度気を使うことは大事だけど、使いすぎることはよくない。積極的に話すこと

ホストファミリーと会話する時間をできるだけ多くしてお互いを深く知り合うべきだと思います。家事は自分から率先してお手伝いすること、家にいたらあいさつは必ずすることが大切です。お客さんではなく家族の一員として受け入れてくれることを忘れずに、気軽に接することも大事だと思います。あと、分からないことがあったらすぐにファミリーに聞いたら答えてくれるのでいっぱい質問したら良いと思います。

掃除機をいつ使えるかや、シャワーを浴びてもいい時間帯を最初のほうに聞いておくことは大切だと思います。

私は一人暮らしをしていたので急に家族のような感覚で一緒に過ごす感覚はどの人でも最初は気を遣ってしまうと思います。私の家はほっとかされる感覚でしたが私はそっちの方が楽でよかったです。わからなかったらやってみるより聞く方が不安もなく絶対いいと思います。ホームステイというイメージ

で行くとあまり納得できないことが多いかもしれないので、あまり期待せず一緒に住んでいるシェアハウスや寮に行く感覚の方がいいと思います。日本の生活は日本なのでその常識は効かないけれど、全て鵜呑みにせずちゃんと話し合う心は常に持っておいた方がいいと思います。

家に帰ったら自分の部屋にこもらず、なるべくリビングで勉強したり、過ごすことです。

時間に余裕を持つこと。人が多いので自分が使いたい時にシャワーを使えなかったり、トイレを使用できなかった場合があったので、時間に余裕を持つことがとても大切だと思います。

ホストファミリーと意思疎通をはかること。何をやるにしても意図があると思うけど、伝えないとわからないのでたくさん会話をするといいと思う。

分からないことがあればすぐに聞くことが大切だと感じました。聞き取れなかったり理解できない時もすぐに聞くことが大切だとおもいます。

とにかく話して、疑問があればすぐに聞くこと

ホストファミリーと会話をする。自分のできることはなるべく手伝える。甘えられる部分は頼る。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	LAN ケーブルで可能	はい

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学主催の留学生のためのイベントに参加したり、言語交流イベントを探して参加した。	K-mart や KFC などのお店
大学主催の BBQ、ハロウィンパーティ、学期末のボールパーティー、Eureka tower ツアー、Phillip island ツアー	Myer shopping mall, Victoria library, Cotton on, H&M, Seven eleven, Melbourne central,
私は近くのダンススタジオを探してレッスンを自分で予約して行ったり、留学生や現地の人で日本語を学びたいと思っている人たちと交流できるようなイベントに毎週参加したり、メルボルンからのバスで行けるツアーに参加したりしました。	学校の近くの図書館や、ショッピングモールによく行きました。
遠い場所は大学のイベントに参加していきました。	ジェラート屋さんが本当に多くてアイス巡りやマーケットに行くことが多かったです。定期的にイベントは行われているようだったので学校帰りにいってました。
文化交流イベントに参加	地元のスーパーマーケットにほとんど毎日通っていました。何を買うわけでもなくただひたすら食べ物を眺めていました。ビーチにたくさんいきました。

大学が主催のイベントでは、街で最も高いタワーに登ったり、島に観光に行きカンガルーと触れ合ったり、船で行われたハロウィンパーティーに参加したりしました。	図書館、カフェ、ショッピングセンター、学内にある学習スペース
大学主催のミニトリップでフィリッパアイランドやスカイデッキへ行った CBDにあるダンスレッスンに参加	メルボルンセントラル、カフェ巡り
	州立図書館 K-mart
	学内の卓球台

### 3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
ホストマザーに渡す日本のお土産 基本の英会話
単語を勉強していった
簡単な日常英会話から再復習していました。例えば、駅、家、道に迷った時、お店、自己紹介など、出てきそうでいざとなると出てこないかもと思った文を復習しました。あとは最寄りの電車を簡単に調べていました。
オーストラリアの生活様式やマナーを調べたり、メルボルンでしたいことを決めていました。
英語の勉強、地元や日本のことをどう英語で説明するか
あらかじめ現地で使いそうな単語やフレーズを勉強したり、日本のことについて調べたりしていました。
単語帳を読んだり、日常会話で最低限必要なフレーズを勉強したりしていました。
リスニング力、ライティング力の向上、ホームステイ先周辺の施設などの調査
ホストファミリーと事前に連絡を取る。簡単な単語の知識量を増やす。
洋画を見たり、オーストラリアで流行っている音楽を聴きました
単語を復習する。よく使うフレーズなどを覚える。文法の復習。リスニングの練習

留学前にしておけばよかったと思う準備
日本についてより深く調べること。身近な節分とかのイベントなども。
イディオムなどの日常で使う英単語
行きたいところをリストにまとめておけばよかったと思いました。公共交通機関のカードの購入方法を事前に調べておくべきだったと思いました。
オンライン英会話に参加したり、もっと英語で話すことに慣れておくべきだと思いました。
英語の勉強
地元のお土産は地元の話をするのに役に立ちました。
もっと自分の語彙力を増やしておけばよかったと思いました。伝えたいことがあるのに語彙力がなくて悔しい思いを何度もしました。
自国についての学習 / 文化や習慣、技術について質問されることが多かった。
日本について調べること。
オーストラリアの英語が少しアメリカ英語と違っていたので少し調べてから行けば最初に戸惑わなかったのかなと思いました。日本のことをもう少しわかるようにしていけばよかったなと思いました。
日本の代表的な動物や自分の住んでいる地域の特産物などについてもっと調べておくべきだった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
スリッパ:海外では家の中では土足なのでスリッパがあると便利
味噌汁は喜ばれた サングラスはとても役だった
変圧器は必ず必要です。あとファミリーにお土産として、湯呑み、扇子、抹茶のお菓子を持って行ったらとても喜んでもらえました。余裕があれば自分用にも日本の好きなお菓子を持っていくと良いです。ポケットティッシュもあと便利です。
ホームステイ先へのお土産です。私は、日本のお箸、湯飲み、有名なお菓子を持って行きました。
味噌汁、日本のお菓子、蚊や虫の噛まれた後の薬、日焼け止め、水筒
自分が普段服用している常備薬や、体に合う洗顔やクリーム。
お米、日本のお菓子、日傘、日焼け止め、薬、パソコン用のイヤホン
歯ブラシ、生理用品、バック類
日本のアニメが人気だったのでパッケージがアニメのお菓子は喜んでもらえた。
喜ばれたもの:ガチャガチャ、ねるねるねるね、折り紙、役に立ったもの:花粉の薬

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
ハンガーやバスタオル	
たくさんの服、たくさんのタオル、シャンプー、リンス、白ごはん、マスク、たくさんの化粧品	もう一つ変圧器
マスク、服は少しで向こうで買う方がマーケットとかもあって自分へのプレゼントにもなった	特になし
夏服	暖かい服
なし。物価がとても高かったので日本で全て揃えて行ってよかったと思いました。	耳かき、爪切り、ハサミ。
大量のマスク、シャンプー(現地で日本のものが買えた)	ヒートテック、水筒
ドライヤー	自分の使い慣れているメイク道具の予備
湿布、観光ガイドブック	コロコロ
半袖の服(1~2枚で十分でした)	長袖の服(9~11月はまだ寒いので)

#### 4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
現金とクレジットカード	クレジットカード上限三十万円、現金十万円
現金三万円 クレカ2枚	現金三万円 クレカ上限30万2枚
現金、クレジットカード	現金約8万円、カード上限約30万円
クレジットカードと現金です。	現金は30000円ほど日本の空港で換金して行きました。
カード一枚、キャッシュ一枚、現金を4万円ほど	
クレジットカード・現金	クレジットカード20万・現金10万
現金を2万円、その他はクレジットカードで払いました。ローカルマーケットなどは現金しか使えなかったのですがその他はカードで全て払うことができました。9割以上の人がカードを使っていました。	クレジットカード月10万円。

クレジットカード、現金	クレジットカード上限 50 万円、現金 12 万円
現金、クレジットカード	クレジットカード上限 20 万 2 枚、現金 6 万
現金・クレジットカード	クレジットカード上限 30 万 現金 10 万

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

7 万
食費に約8万円でした。
住居費はかかっていなくて、食費に4万円ほどでした。
昼ごはんは自炊していたので一ヶ月80ー100ドルくらいだと思います。土日や遊びに200ドルくらい使っていたと思います。
食費は月3~5万円でした。
住居費0、食費は夜はホストファミリーが用意してくれていて、朝と昼は自分で作って持っていくが多かった。外で買う場合は一食 1000~1500 円程度。
食品の買い物は週に一度か二週に一度ぐらいで 2000 円ほど。洋服やお土産には計 4 万円ほど使ったと思います。
食費:約 10万
お昼ご飯用の食費は約 1.5 万円だったが、カフェなどの外食は4万円以上

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

テキスト代:0 通学:2 万ほど
通学費 三万
テキスト代はなく、通学費は三ヶ月で約3万円以下でした。
テキストはなかったのでテキスト代は必要なかったです。通学費は、毎日 tram に乗っていたのでその定期券の値段が 4 万円でした。
一ヶ月交通定期180ドル
通学費は月 1 万 6000 円ほどでした。
テキスト代はパソコンですべて完結したので0、通学日は定期券のようなものを月 17000 円で買っていました。
通学費月 2 万弱
通学費 約15, 000

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

10 万ほど
30 万
約20万円ほどかかりました。
ツアーに 3 つ参加したので、2万円ほどで、買い物などで5万円くらいでした。
月に200ドルくらいだと思います。
遊びに行くのに月約 3 万円かかりました。
想像以上に寒かったので服にたくさん費用がかかったと思います。いくらとかは覚えてないです。
娯楽 10 万 お土産 5 万
25万円(カフェ費用込み)、通信費 1.5 万円



## 5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
多国籍の人と話すことの楽しさを知り、積極的に話しかけるようになった
speaking が上がった
留学前と比べてみて、留学前はテストで点数が取れば、日常会話ができればそれでいい程度だったのですが、留学に行ってから、テストで点数を取るだけじゃなくてとっさに話しかけられた時にシンプルにフレンドリーに返答ができるかどうかを大切にようになりました。文法があつてかどうかを話す時毎回不安になるのではなく、その人と会話をする時外国人と話すという意識より新しく知り合う人としてコミュニケーションがとれるようになったのは大きな変化だなと感じています。
元々、初対面の人と話すことは好きなのですが、今回の留学では色々な国の人と出会って話すことがとても楽しかったので、もっと話せるようになりたいと思って勉強し、語学力、コミュニケーション能力は上がったと思います。
基本的に全体的に上がったと思います。強制的に英語に触れる機会が少ないので英語慣れはしたと思います。
語学力・コミュニケーション能力共に向上したと思います。語学力は周りの人たちからどのような単語・フレーズを使っているのかを聞き取れるし、コミュニケーション能力は違う国からの友達の輪で英語を使って話さなければならなかったのも、共に向上したと思っています。
全ての能力が留学前と比べて向上したと実感しますが、まだまだ自分の満足できるものではないです。ネイティブには程遠くまだまだ努力が必要だと強く思います。
四技能の中ではライティングとスピーキングが伸びたと思います。週に何題かさまざまなトピックでエッセイを書いていたのと、授業中やプレゼンテーションをなど多くの英語を話す機会を通して向上できたと感じています。
コミュニケーション能力は上がったと思う。簡単な単語しかわからないが、それでもある程度の会話はできる。
完璧な英語ではなくても伝わり会話ができることを実際に行って感じたので、英語が完璧でないから通じるかわからないといった心配で話しかけることをあきらめることがなくなりました。
スピーキング力がまだまだほしいと感じた。リスニングやリーディングは今まで以上に伸びたと感じる。コミュニケーション能力はあまり変わらなかったが、意見を言うことに対する抵抗は以前より少なくなった。
リスニング能力は向上したと感じる。

留学前の目標とその達成度
目標:問題を解決する力、自分を成長させること→日本にいた時は少しのことで心配しすぎたり、人に相談して自分で決められないことも多かったが、何かがあったときに自分なりに考え方を覚えて考えられるようになった。
speaking はもう少し伸ばしたかった。他の力はあまり変わっていないと思う
留学前の目標として同じ年くらいの子が話すスピードを理解できるようになることでした。自分からそういった方達と話す環境に足を踏み入れてみて話す機会を増やしたことから、その会話の速さについていけるようになり、相槌や会話に入ることもできるようになりました。
留学前は、外国の人と友達になることを目標にしていたが、友達はできたのですが、あまり親密にはなれていないと思うので、達成度は60%くらいです。
英語がすぐ出てくるようになりました。人と話すことに対するためらいはなくなりました。まだまだ勉強しないといけないですが自信は身についたのでいいステップになったと思います。
留学前は異文化社会のオーストラリアに行くことで、異文化理解であったり、違った考え方を吸収したいと思っていました。実際に現地に行くと、異文化の人同士が同じ職場で働いていたり、喋りながら街を歩いていることから、文化の違いはあまり関係ないのかなと思いました。また、違う国からの人と話す上で違った考え方を得られました。
留学以前、明確な目標はなく将来自分がしたいことを見つけることができたらいいなと思い参加しました。将来自分のしたいことがまだはっきりとはないですが、少し見つけることができました。

英語を話すときに感じていた、間違えていたらどうしようという不安や緊張をなくすという目標は達成できたと感じています。完璧でなくてもいいと考えられるようになったことと、伝わらなかったときに関連する単語を並べてみたり、違う表現で言い換えてみたりできるようになったことが成長に繋がったと思います。

留学生と仲良くなる目標は達成できた。外大の知り合いもできた。グラフの説明をする際のボキャブラリーなど単純に単語力が上がった。

留学前周りの人とたくさん話をして実際の英語を学ぶ機会をなるべく増やそうと考えていました。実際に留学に行ってホストファミリーとだけではなく言語交換のコミュニティーなどを通して言語だけでなくたくさんのお話を学ぶことができました。

留学前の目標は、英語を話すことへの抵抗をなくし、コミュニケーション能力を高めることで、達成度は75%。まだ少し英語を話すことに対しての心構えが必要だから。

日常会話で困らないようにしたいと思っていました。話すことに抵抗が少なくなりました。達成度は70%くらいかなと思います。

### 留学を通しての成長ポイント

話すことの楽しさを知ったことから、プレゼンなどで自信を持つようになった。

積極性は身についたと思う

大きく成長したと感じるのは環境に適応できる柔軟性、コミュニケーション能力、その次にリスニング、スピーキングだと感じています。リスニングとスピーキング力が十分に備わっていないとコミュニケーション能力を高めることは不可能だったのである程度スキルがついたと感じた時から知らない人に話しかけに行ったり、違うクラスに入って新しい人と話してみたりと、コミュニケーション力をつけることを重点的に頑張ったと感じました。

自分で進んで決めていく力がついて、親から自立することもできるようになったと思います。

自分に対しての自己肯定感と視野の広がりが上がったと思います。

積極性です。現地では自分から率先して物事を言わないと周りの人と行動できなかったのも、よく自分から声をかけるようにしていました。

わからないことは質問する能力、初めて会う人と少し長く会話を続けることができるようになりました。

自分の意見を相手に伝える力が身についたと思います。大学の授業が始まってすぐ、ほかの学生から伝えることの大切さを学びました。それから授業の中でプレゼンテーションをする機会が多く、グループでの準備段階ではどのように言えば伝わりやすいか、何を一番に伝えたいかなどをたくさん考えていたので、この力が身についたと思います。

コミュニケーション力が上がったと思う。恥ずかしがらずに話せるようになったと思う。

少しでも気になることがあれば挑戦してみようと思うことが留学を通して多くなったと思います。また自主的に勉強しようと思えばいくらでもできることをクラスの先生から学んだので何かわからないことがあればそのままにしておく癖が少なくなりました。

様々なものを説明する能力。細かいところまで聞かれることが多かったため、そのつどわからない単語を調べたり聞いたりして説明していたから。

リスニング能力の向上、スピーキング能力も留学前よりは向上したと感じる。

### 留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前は不安が一番強くあまり意欲はなかったが、留学中にいろんな人と話す中でもっと上達したいと思えるようになり語学の勉強をより継続したいという気持ちが強くなった。

もっと英語が上手になりたいと思った

留学前は課題をただこなしたり、テストをこなすだけの毎日で正直英語を実際に使うことが数少なかったのもやる気が落ちていたのですが、留学中に色々な国から来た人たちと知り合って経験してきたことを聞いたり新しいことにもっと挑戦するぞという好奇心が生まれ、留学が終わった後は、このスキルを無駄にしたいくないということから時間があれば英語を耳に入れてできるだけ日本語に触れない生活を送るようになりました。

留学前は英語を勉強することに関してモチベーションは高くなかったのですが、留学中に出会った人たちやホームステイ先の家族、ルームメイトとと話したいという気持ちが大きかったので、モチベーションが上がり、勉強することが好きになりました。

留学前や留学中に比べて、留学後にもっと語学を身に付けたいと思いました。オーストラリアで働く違う国からの人を見て、自分もこの人たちのように

海外で仕事あるいは海外に関係を持つ仕事がしたいと思ったからです。
留学前はあまりモチベーションがなかったのですが、留学中自分の英語力の乏しさの現実を突きつけられ、毎日勉強し、帰国後のいま、もっともっと英語力を伸ばしたいと思っています。
留学前よりは遥かに留学中や留学後の方がモチベーションは上がったと感じています。異国での生活や学習を通して、将来外国で働いてみたいという気持ちや他国についてもっと知りたいという気持ちが強くなり、自然と学習意欲も高まりました。
留学前はやはり不安なことが多かったが、留学中はとても充実した生活を送れておりもっと英語を話せるようになりたいという気持ちが強かった。この気持ちを忘れないために留学後も現地の友達と連絡を取り、先生に進めてもらったウェブサイトなどで学習を進めている。
留学前では海外に行くことで英語が上達すると考えていて、実際に行くと周りが英語の環境でもっと電車とかで話しているのを聞き取れるようになりたいとすごく思いました。また留学後は日本でもしっかり文法だけではなく speaking を上達させることができる機会はたくさんあるのだと感じました。
留学前は単語や文法を中心に勉強し、留学中はスピーキングやリスニングに力を入れていた。留学後は TOEFL などの検定の対策をしつつ、主にスピーキングに力を入れようと思うようになった。
留学前:高い→英語を話せるようになりたい 留学中:高い→話せない、聞き取りが難しくて悔しい 留学後:より高い→もっと話したい

### 留学中 100%力を振り絞った瞬間

スピーキングのテスト
テスト期間
登校日初日が終わって学校から電車に乗って帰っている時に違う電車に乗っていることに気づき、すぐに降りて、泣きそうになりながら、つたない英語で近くにいた現地の方に初めて自分から話しかけた時です。その時はまだ英語慣れしていなかったので不安いっぱい電車を聞いたら快く答えてくれたことを今でも覚えています。
初めて近くのダンススタジオに予約して行った時です。日本人は少なかったのですが、自分から色々な人に話しかけて友達ができ嬉しかったです。
最後のスピーキングテストです。先生2人の前で4人グループでディスカッションをするテストだったのですが、そこで100%を出しました。
毎週金曜日に行っていた一時間程のディベートでは 100%の力を振り絞っていました。それはその週に学んだトピックに関する事で学生同士が議論するもので、一週間かけて準備したものだし、成績にも大きくかわることなのでベストを尽くせるように努力していました。
言語交換のコミュニティでいろいろな国の人と話を聞き、また日本のことを紹介してなど英語を通してたくさんのことを学ぼうと努力しました。
メルボルンの語学交流会イベントで、約4時間ひたすらいろいろな人と英語で会話をした時
スピーキングテストで話す自信があまり持てなかったのですが、自分の伝えたいことをしっかり出し切って回答しました。

### 留学先大学の良かった点

少人数で自由かつ一人一人に対応してくれる学校でした。
教室のあるビルの 12 階に自由に学習できるスペースがあった点、都会にあったのでお昼にはご飯を買いに行けたり、放課後にはお出かけしたりすることが出来た点
学生の理解度を確認して進めてくれるので非常に授業が楽しかった。
様々な国の留学生と交流できる点
様々な点で厳しすぎなかった点。先生方がフレンドリーで話しやすかった。
定期的にはほかの留学生や現地の学生と交流することができる機会が設けられていたこと。
留学生への手厚いサポートがある点
先生が親切で、留学生にも優しく、大学のイベントも多かったこと。また、週に 1 回セラピー犬が来ていて、とても癒されました。
大学主催のイベントがたくさんあったことです。先生が学生としてではなく大人として一人一人と接していたところもよかったです。自習室が多かった

ところと勉強スペースが整っていました。

RMIT 大学はさまざまなイベントを開催していて、また授業のスタイルもとてもよかったです。